



アスリート先生 学校派遣事業

# Challengers Academy 実施レポート

港区立高松中学校  
2024年12月20日(金)  
澤穂希 先生(サッカー)

# チャレンジャーズアカデミー 実施にあたって

IMD(国際経営開発研究所)が発表した「世界競争力年鑑2024」によると、ビジネス分野における近年の日本の『世界競争力』は大幅に落ちており、今後、日本ではグローバル社会で活躍できる人材の育成が急務であるといえます。

そこで、海外を経験したアスリートが、日本の未来を担う子どもたちへ自身の経験や想いを子どもたちに伝えることで、夢やチャレンジ精神をもつことの大切さを知ってもらい、国際社会での活躍を意識してもらえるよう、アスリート先生による学校授業プログラム「チャレンジャーズアカデミー」を立ち上げました。

いくつもの困難を乗り越え、自身の夢や目標に向かい、世界を舞台に挑戦してきたアスリートたち「チャレンジャーズ」のこぼれ話や経験は、子どもたちに気づきをもたらし、勇気を与える力があると信じています。

同時に、学校教諭の指導力向上や働き方改革の一助となること、また、アスリート達の社会貢献の場となり、セカンドキャリア支援となる仕組みを生み出すことを目指します。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。

「チャレンジャーズアカデミー」での“触れ合いによる学び”が、今後生徒の皆さんが国際社会に出てグローバルな歩みを進めていく中で活かせる資質や能力を育むとともに、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフを送り健康的な人生を送るきっかけとなることを期待しています。

# 1. 実施概要

【事業名】 アスリート先生 学校派遣事業

【運営委託】 一般社団法人FELICEスポーツクラブ

【主催】 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団

【日程】 2024年12月20日(金) 3時限目～6時限目

【実施校】 東京都港区立高松中学校 (東京都港区高輪1丁目16-25)

【実施クラス】 3年生：94名（3クラス）

【目的】 海外を経験したことのある元アスリート＝「チャレンジャー先生」が教師役となり運動と講義の授業を実施し、子どもたちへアスリート自身が海外に出たきっかけや、どのように語学やコミュニケーション能力を身に付けたのか、また海外で遭遇した困難をどう乗り越えたかなど、自身の経験を伝えることで、子どもたちが国際感覚を養い、将来世界を舞台に活躍することを意識するきっかけをつくる

【チャレンジャー先生】 澤 穂希 先生（元サッカー女子日本代表）

【アシスタント講師】 松原 良香（元アトランタ五輪サッカー日本代表）

【子どもたちに身に付けてほしい要素】

- 語学力、コミュニケーション能力
- 自己主張力、自立心
- グローバルな視点・多様性のある社会の創造など、新しい時代に求められる資質や能力
- スポーツを好きになり、生涯にわたり健康的で豊かなスポーツライフを送るようになること

【実施方法】 運動の授業をクラス単位で、講義の授業を学年単位で実施

- 運動の時間 チャレンジャー先生自身の競技・トレーニングを実践し、その競技に親しむとともに、スポーツの楽しさを知ってもらう
- 講義の時間 目標を達成させるためにしたこと、海外での困難にどう乗り越えたかなど、先生自身の経験や想いを伝え、生徒に国際社会で活動することについて考えてもらう

【当日タイムスケジュール】

時限	内容	時間	実施時間	場所	対象クラス	クラス人数
3	サッカー	10:45～11:35	50分	校庭	3年4組	32名(男17、女15)
4	サッカー	11:45～12:35	50分	校庭	3年3組	31名(男16、女15)
	給食	12:35～13:20		3年4組教室		
5	サッカー	13:30～14:20	50分	校庭	3年2組	31名(男16、女15)
6	講義	14:30～15:20	50分	2F体育館	3年生全員	

## 2. 授業構成（運動の時間）

### ①自己紹介～授業の目的を確認（5分）

- ・松原先生：澤先生の経歴紹介(競技歴、今の活動など)
- ・澤先生より生徒へ一言(今日の授業の目的、意気込み)



### ②準備運動（10分）

- ・ウォーミングアップ、ストレッチ、体操など実施
- ※自身の競技の特性を活かしたウォーミングアップを行う
- ※怪我予防のため、動きの効能・目的を伝える



### ③練習（15分）

- ・目標に向かって仲間と協力し合い努力すること、その達成感とスポーツの楽しさを感じてもらえるよう、効果的に声かけをすること



### ③試合（15分）

- 2コート、4チームに分かれ試合を実施
- 澤先生には生徒に交じり一緒にプレーしてもらいます。



### ④まとめ（2分）

- ・子どもたちが良く考えたこと、努力をした点を評価する
- ・次の授業は教室のため、移動を促す



### ⑤記念撮影（3分）

- ・集合写真の撮影



## 3. 授業構成（講義の時間）

### ① 自己紹介・自身の国際経験の話（30分）

#### 経歴紹介(松原先生)

- ・選手時代の写真を用いて経歴の紹介
- ・現役時代にプレーした国、遠征で滞在した国の情報



#### 国際経験の話

松原先生より、澤穂希先生へ各質問を投げかけ、答えていただく形式で実施。

#### 澤先生への質問事項

- ① 15歳での日本代表に選出され、努力したこと、大変だったこと
- ② 1999年渡米し、アメリカのチームでプレーすることになった経緯  
チームメイトとどのようにコミュニケーションをとったか、苦労したこと、チャレンジしたこと
- ③ 2004年日本に帰国⇒米国での経験を日本チームでどう活かしたか
- ④ 2011年FIFA女子W杯優勝 アメリカを倒し優勝できた要因は？
- ⑤ 男女通じアジア人初の「FIFA最優秀選手賞」を受賞した際の気持ち
- ⑥ FIFA女子W杯最多出場6回 ⇒活躍し続けられた理由
- ⑦ これまでの素晴らしい経験を、今後どのように活かしていくか？

### ② 質疑応答・生徒による感想の発表（15分）

#### 質問タイム(4-5名程度)

#### 感想の発表



### ④ 授業のまとめ（5分）

生徒の感想を受け、澤先生がこの授業で、子どもたちに一番伝えたかったことを伝える  
生徒へのメッセージ、アドバイスなど



### 授業後 アンケート回収・記念撮影シートの送付

- ◆ 授業終了後 ⇒ 受講後のアンケート(生徒全員) ※教諭より事務局へ提出
- ◆ 約1か月後 ⇒ 記念写真シートを生徒全員へ贈呈

# 4.授業レポート① 3年4組 運動

【日 程】 2024年12月20日(金) 3時間目

【チャレンジャー先生】 澤穂希 先生(元サッカー女子日本代表)

## 自己紹介・準備運動(ウォーミングアップ)



最初に澤先生の紹介と、授業の目的「国際社会で活躍するために必要な要素を学ぶこと」を伝えました。準備運動は、2人1組でのマーカー早獲り競争。「頭、肩、腰、膝・・・」の指示に従い自分の身体をタッチし、「マーカー」と言われたら2人の間にあるマーカーを早くとった方が勝ち。負けず嫌いの澤先生はさすがの瞬発力で何度も勝利していました。

## 主運動① (ボールまわしリレー)



3チーム対抗のボール回しリレーは、各チーム1列に並び、ボールを頭上や股下などから一番後ろの人までまわし、一番後ろの人がボールを持ち走ってコーンを回り次の人に渡す、というゲームです。澤先生が積極的に声を出しチームを鼓舞し、青チームは何度も1位をとっていました。号令をかけながらボールを渡していくことで、スムーズにボールを回すことができたそうです。

## 主運動② (試合)



最後は、男女分かれて試合を実施。澤先生は女子と、松原先生は男子と一緒にプレーしました。澤さんを相手に、果敢にボールを奪いに行ったり、パスをもらいシュートを決めたりと、サッカーの経験が少ない女子生徒も澤先生と一緒にプレーして楽しみました。

【今後に向けて】 今回は、松原先生が進行を行い、澤先生はレクリエーションや試合を生徒と一緒にプレーするスタイルで行い、澤先生が生徒とより近い距離で交流することができてよかったです。澤先生がサッカー経験の少ない女子生徒たちの中では遠慮しなからのプレーだったので、スゴ技や思い切ったプレーも見せてもらえるよう、男子の試合に入ってもらってもよかったです。

# 4.授業レポート② 3年3組 運動

【日 程】 2024年12月20日(金) 4時間目

【チャレンジャー先生】 澤穂希 先生(元サッカー女子日本代表)

## 自己紹介・準備運動(ウォーミングアップ)



澤先生の経歴紹介と、授業の目的の共有からスタートしました。ウォーミングアップのマーカー早獲り競争では、澤先生はトップアシリートならではの集中力と瞬発力を武器に、圧倒的な速さで目の前のマーカーを奪って勝ち続けていました。負けず嫌いでどんなゲームでも「勝ちたい」と全力で取り組み、その場を盛り上げる澤先生の姿勢につられ、生徒の皆さんも楽しんで取り組んでいました。

## 主運動① (ボール回しリレー)



3チーム対抗のボール回しリレーは、1列に並んだ前の人から、ボールを後ろの人に、頭上、股下、左右のいずれかから後ろの人へ回していきます。リズムカルに声出しをしているチームが、ボールをスムーズに回すことができていました。このクラスでも澤先生が積極的に声を出し、1位になるために仲間を鼓舞するとともに、他チームにも的確なアドバイスを出して下さっていました。

## 主運動② (試合)



最後は、男女分かれて試合を実施しました。澤先生の熱量に影響され、サッカーに慣れない女子生徒たちも積極的にボールを追いかけてゴールを目指していました。授業を通して生徒の皆さんがアシスタント講師の指示をよく聞き、きびきびと行動し何事にも真剣に取り組んでいたのが、スムーズに進行することができました。

【今後に向けて】 実施するメニューや競技にもよりますが、澤先生が各チームをまわり一緒にプレーできるようにすると、より多くの生徒が澤先生と近くで触れ合うことができ、澤先生のポジティブなマインドや日本代表を世界一に導いたリーダーシップなどを感じてもらうことができると思いました。

# 4.授業レポート③ 3年2組 運動

【日 程】 2024年12月20日(金) 5時間目

【チャレンジャー先生】 澤穂希 先生(元サッカー女子日本代表)

## 自己紹介・準備運動(ウォーミングアップ)



澤先生の紹介と、授業の目的を説明し、ウォーミングアップの「マーカー早獲り競争」を実施。このゲームが得意な澤先生へコツを聞いたところ、「松原先生の指示に耳を澄ませ集中し、瞬時に動ける重心を低くして準備しておくこと」と生徒たちに的確なアドバイスをしてくれました。このクラスでも大いに盛り上がりました。

## 主運動① (ボール回しリレー)



3チーム対抗のボール回しリレーでも、青チームに助っ人として入った澤先生が率先してチームメイトに声をかけ、音頭をとるなどして、勝利を目指し盛り上がりしていました。

## 主運動② (試合)



最後の試合では、女子生徒にサッカー経験者があり、ドリブルでグラウンドを軽やかに駆け抜け、澤先生と対峙しながらもゴールをたくさん決めていました。男女ともにサッカー経験の少ない生徒も多いましたが、積極的にプレーに関わろうとする姿勢がたくさん見られました。中学3年生にとっては、高校受験を控え全員が揃う最後の機会だったそうで、このサッカーの授業を通して、仲間と声を掛け合って協力することの大切さや、クラスメイトとの絆を再認識できたとの感想ももらいました。

【今後に向けて・所感】中学生だと思春期に入り、運動の授業も照れや恥じらいで消極的な生徒もいるかと予想していたが、高松中学校の生徒の皆さんは皆が前向きな姿勢で授業に取り組み、理解力もあったので授業で学んでほしい要素も自然とくみとっていたのを実感しました。



# 4.授業レポート④ 3年生 講義

【日 程】 2024年12月20日(金) 6時間目

【チャレンジャー先生】 澤穂希 先生(元サッカー女子日本代表)

## チャレンジャー先生の経歴・海外での挑戦の話



松原先生が司会進行の対談形式で講演を実施しました。15歳で日本代表に選出されたときの心持ちや、1999年にプロリーグのできたアメリカに渡ったときの苦労、また2003年にアメリカのプロリーグが休止となり、サッカーが結婚かの選択を迫られたこと、また2011年女子W杯でアメリカを破り優勝したときは、実感するのに時間がかかり夢ごちだったことなど、澤さんが日本やアメリカで女子プロサッカー選手としての道を切り開き、日本女子サッカーの発展に貢献されてきた話をしてくださいました。

## 質疑応答・感想の発表



生徒から「受験を控え失敗しないか不安になるのですが、澤先生は不安や困難に直面したらどのように対処していますか？」との質問を受け、澤先生からは「私は基本的には何事もポジティブに考えるようにしていて、不安や心配に思わないようにしています。起きてもないことを心配してもしようがない。なってからどうすればよいか考えればよいし、どうかなると良いイメージを持つことが大事」と答えてくださいました。澤先生が世界の第一線で活躍されてきた秘訣を知り、生徒にとって非常に有意義なアドバイスをしてくださいました。

## 講師からのメッセージ「夢はみるものではなく、叶えるもの」



最後に澤先生より生徒へのメッセージとして、「夢はみるものではなく、叶えるもの」という人生のモットーを教えてくださいました。お母様の「チャンスの波にのりなさい」という教えを受け、「サッカー選手にいなりたい、世界で優勝したい」と思い続け、チャンスを逃さずその波にのれたことで、これまでの実績をあげることができたそうです。子どもたちにも、自分の夢をもつことやそれを叶えるために思い続けること、チャンスがあればそれを掴むことで、人生を切り開いてほしい、とのメッセージを語ってくださいました。

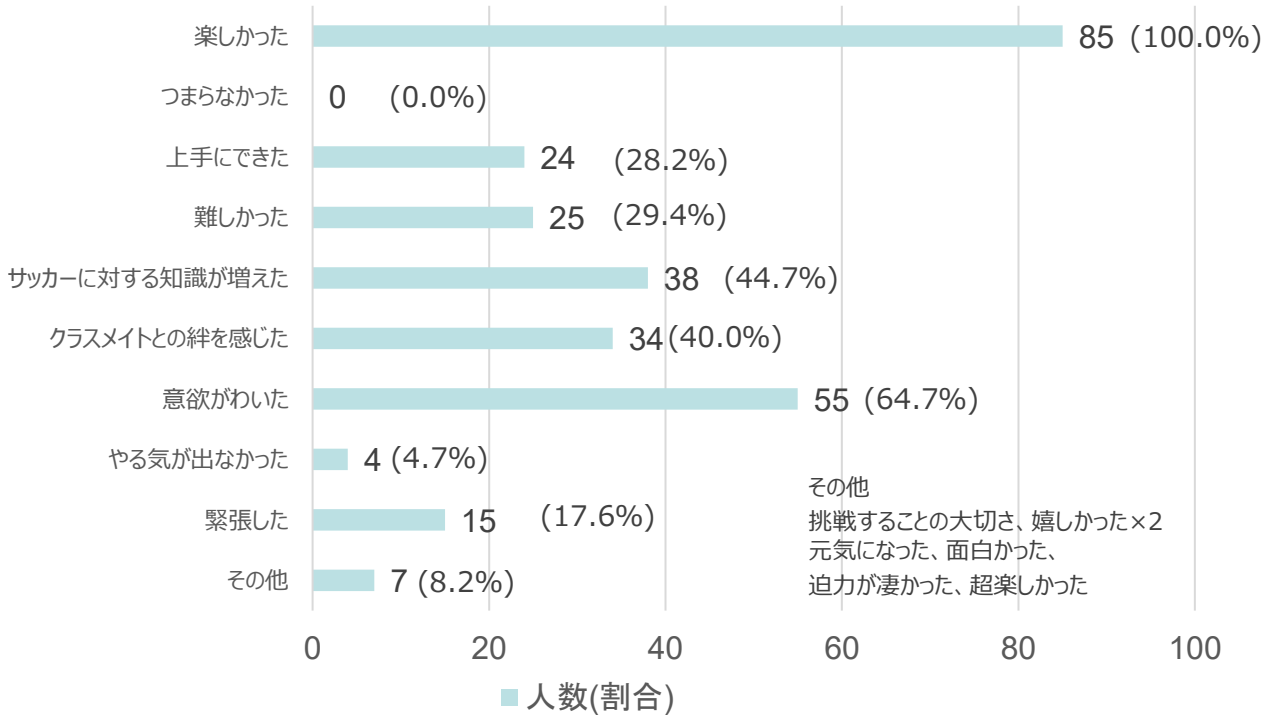
【今後に向けて・所感】 澤先生が自身の実体験をもとに話をしてくださり、成功の裏には前向きな姿勢で困難を乗り越えてきたこと、失敗を恐れず諦めずに挑戦してきたこと、人と比べず自分の長所を伸ばすこと、など前向きなアドバイスをたくさんしてくださり、子どもたちの心にもすんなりと浸透したことが、アンケートの感想から伺えました。

# 5. 受講者アンケートの結果①

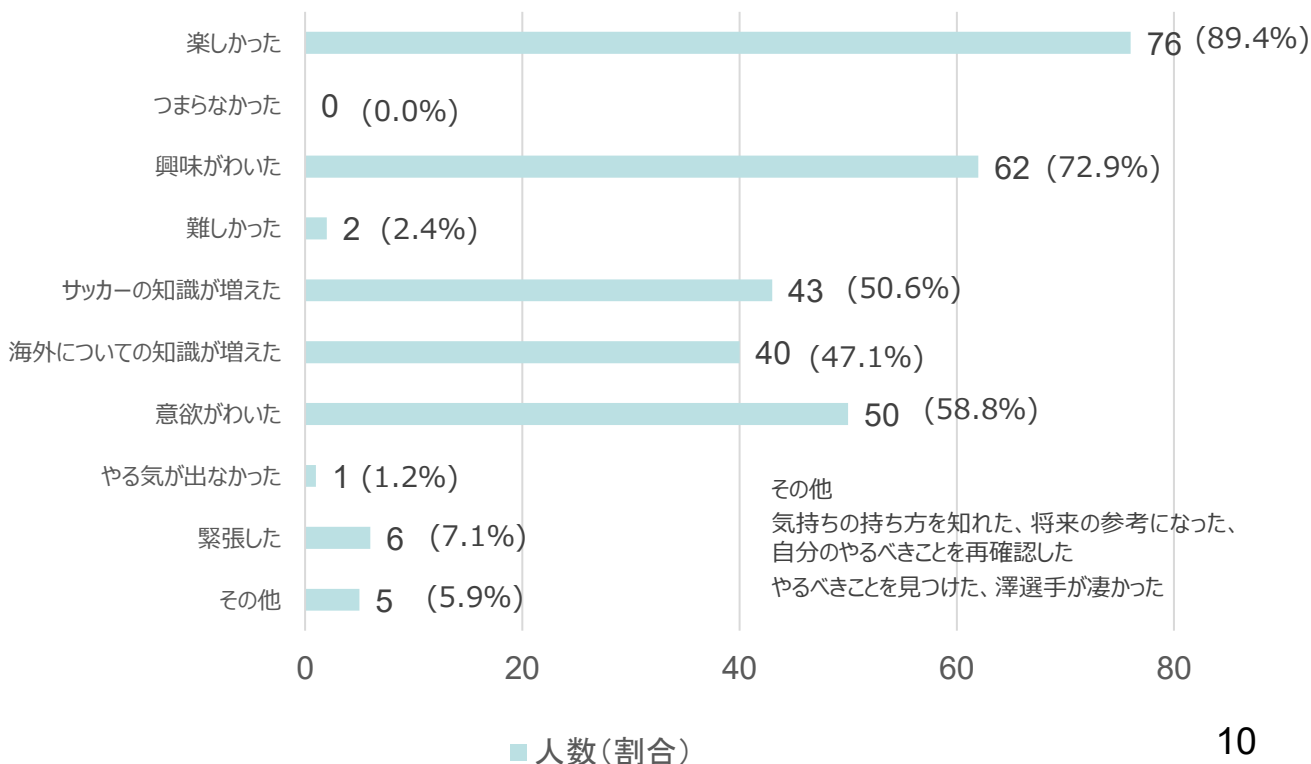


回答者 2組 : 30名、3組 : 26名、4組 : 29名、計85名

## Q1 サッカーの授業の感想 (複数回答可) ※必須回答



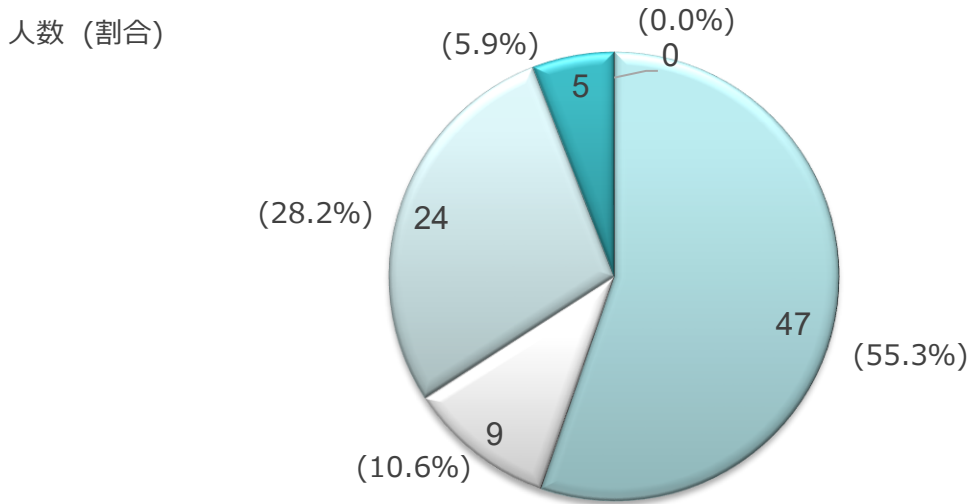
## Q2 教室での講義の授業の感想 (複数回答可) ※必須回答



## 5. 受講者アンケートの結果②

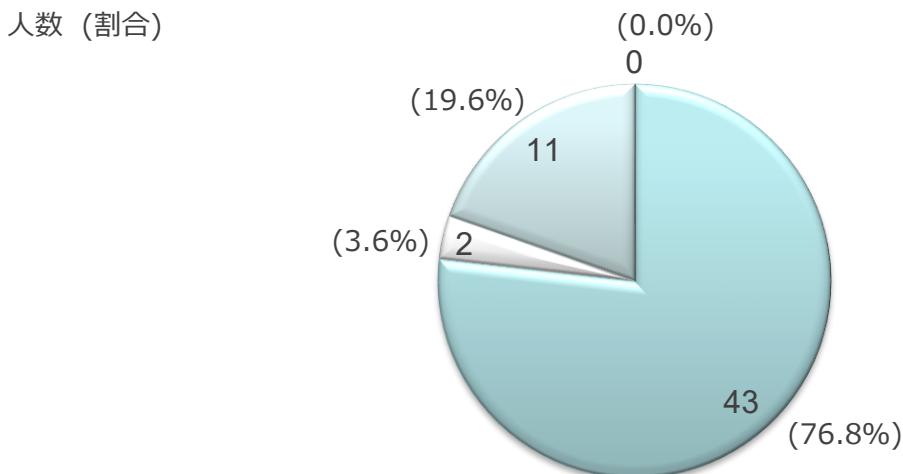
回答者 2組 : 30名、3組 : 26名、4組 : 29名、計85名

### Q3 あなたは将来または近い未来の夢や目標をもっていますか？（どれか一つ） ※必須回答



- 将来の夢・目標をもっている
- 近い未来(3年以内)の夢・目標をもっている
- 考え中
- ない
- わからない

### Q4 (将来または近い未来の夢・目標がある方) 達成に向けて取り組んでいることはありますか。



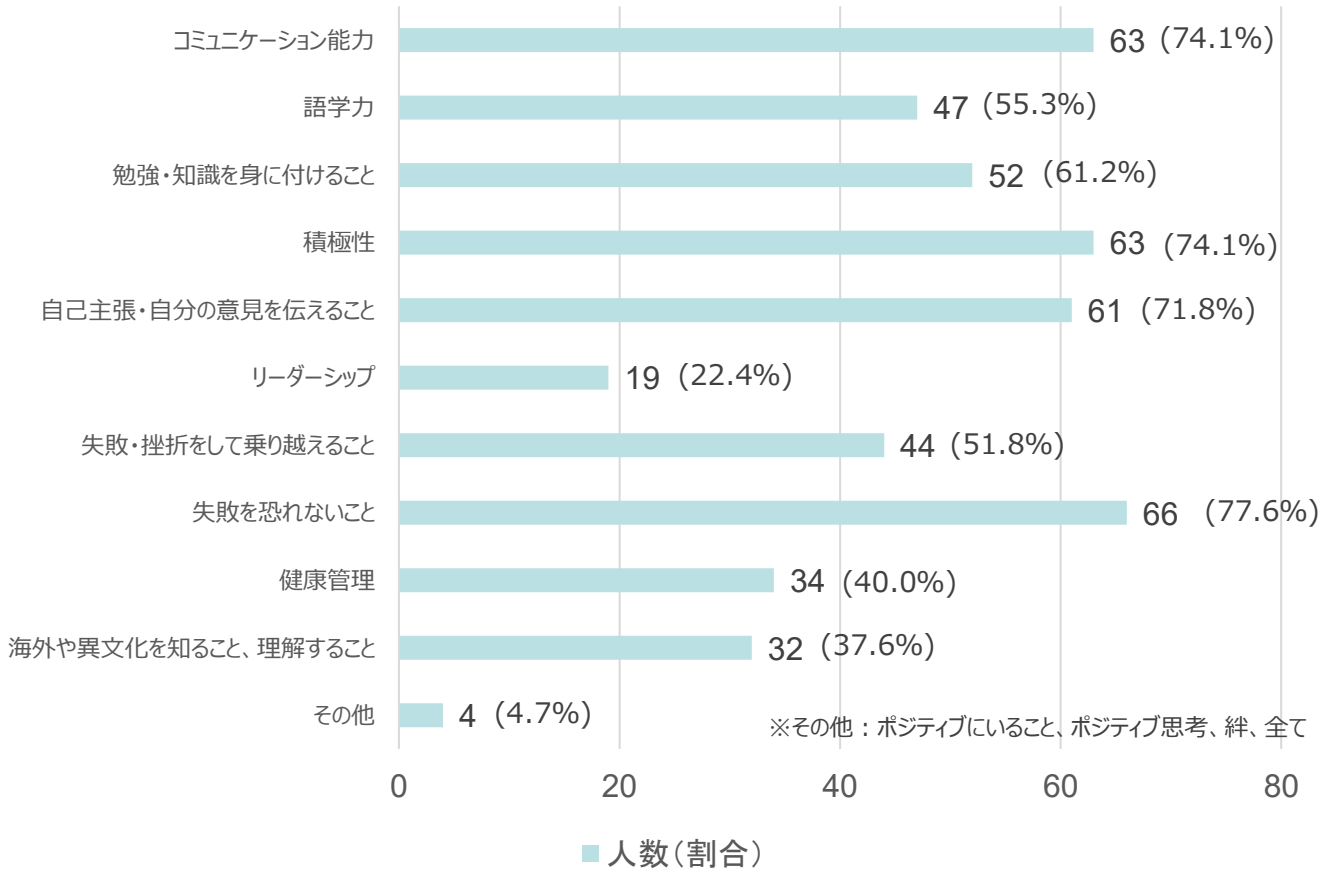
- ある
- 何をしたらよいのかわからない
- 何をしたらよいのか考え中
- ない

# 5. 受講者アンケートの結果③

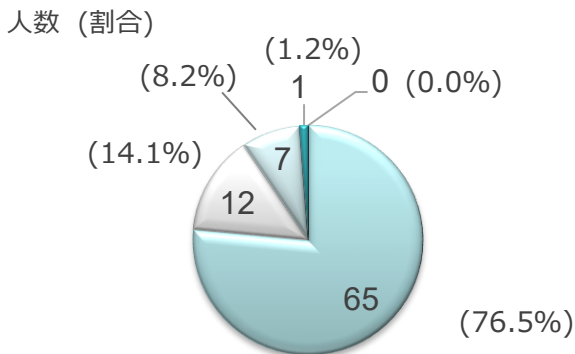


回答者 2組 : 30名、3組 : 26名、4組 : 29名、計85名

## Q5 本日の授業を受けて、大切だと思ったことは何ですか?(複数回答可) ※必須回答

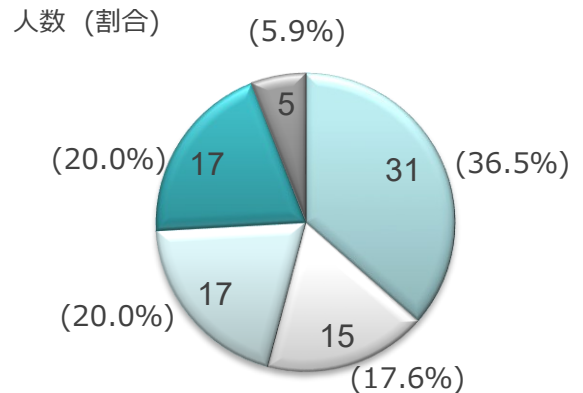


## Q6 スポーツは好きですか?



- 好き
- どちらかというが好き
- どちらでもない
- どちらかというと嫌い
- 嫌い

## Q7 英語や外国語の勉強は好きですか?



- 好き
- どちらかというが好き
- どちらでもない
- どちらかというと嫌い
- 嫌い

## 5. 受講者アンケートの結果④



回答者 2組 : 30名、3組 : 26名、4組 : 29名、計85名

### Q8 澤穂希先生へメッセージ (一部抜粋)

世界で活躍されたこんなに素晴らしい方とお会いできて、話を聞いて本当によかったです。

講演会では、海外で活動することの重要性や勉強の重要性を再確認することができました。また、体育の授業では、ミニゲームを通じて、チームワークを図ることができました。

私は、サッカーは学校の授業感懐かし触れたり実際にプレーしたり試合をみたりすることがありませんでしたが、今日、澤選手と一緒に試合をさせていただいて、チームで力を合わせる大切さや、失敗を恐れないことが大事だと学びました。

本日はとても楽しい授業や講演をしていただき、ありがとうございます。澤さんは小さいころから、兄弟の影響もあって本当にあこがれの存在ですので、今回このような素晴らしい体験ができてとても嬉しかったです。私は、「夢は見るものではなく、叶えるもの」という言葉が印象的でした。夢に向かって真っすぐに努力していきたいなと改めて感じることができました。

知らないことをたくさん知れたり、とても楽しかったです。

チームで協力するボールリレーゲームは、3年生になってからまだあまり話したことのない人と色々と話せて楽しかったです。夢や目標を実現できるのって凄いい、素晴らしいことだと感じました。

本日の授業と講演会を通して、サッカーの楽しさや面白さを知ることができました。また、澤先生が授業をしている中で声をかけていたり、一生懸命に私たちとサッカーをしていて、とても楽しかったです。そして、講演会では失敗を恐れず挑戦したり、諦めないことが大切なんだと知ることができ、私も夢を実現できるように頑張りたいです。

実演と講演を受け、スポーツとしての学びと普段の生活におけることも学べることが本当に多くありました。

ブルーチームで何回もミスをしてしまったことに対して、「大丈夫」「諦めないで」と言ってくれ、ありがとうございます。

コミュニケーション能力や、積極性の大切さについて学ぶことができました。また、澤さんの話を聞き、これからはハッキリと自分の意見を言うことだったり、努力することを頑張りたいと思いました。

本日は、お忙しい中私たちのためにサッカーや講義をしてくれて本当にありがとうございました。私は、澤さんと同じチームでプレーさせていただきました。

澤さんは、負けても勝っても常に前向きでいて、一緒にいた私たちも前向きにいられました。そして、元気をもらえました。

資格試験の勉強や、子育てなど、頑張ってください。私たちも受験に向けて、また将来に向けて楽しみながら頑張ります。

澤さんとサッカーをしてみて、失敗を恐れないで取り組む姿にびっくりさせられました。私も自立した大人になりたいです。

ネガティブになったことがないことに驚きました。チームの中で、キャプテンをして辛いこともあるだろうけど、それも乗り越えて顔や態度に出さずにプレーしていたということがよく分かりました。自分も世界で活躍できるような選手になりたいです。

僕はサッカーを小学生のとき少しだけ習っていたことがありますが、今回の授業や講演会などを通して、サッカーの楽しさを再び学ぶことができました。また、澤さんのお話を聞き、どんなに強いサッカー選手でも、困難や壁をポジティブに考え、乗り越えてきたと知り、自分も今かかっている受験勉強にも応用したいと思いました。また、将来の夢についても、よく考えることが大切だと思いました。

澤さん、松原さんの体験談や意見などが聞けてとても有意義な時間になりました。また、こういった機会は滅多にないので、大切にしたいと思います。

「失敗を恐れないこと」「ポジティブに考えること」など、これからの生活に活かすことができる出来ることが沢山あったので、努力を続けていきたいと思えます。

本日の澤選手の授業は、雲の上にいるような方が授業をしてくださってとても嬉しかったです。昔サッカーをやっていた、本当にすごい方だとは存じていて、とても話しも勉強になりました。

今回の講演で、澤さんの今までのことを聞いていくと、世界の裏には、他の人の何倍も努力をすることだったり、一分一秒を無駄にしない精神、人と比べるのではなく、自分の長所を伸ばすことなど、様々なことを学ぶことができました。本当にありがとうございました。

いつか私も国外へ出て、色々な経験を積んでみたいと思えるようになりました。

一緒にサッカーをした時間は楽しく、講義は自分のためになることばかりで、自分の中で将来の夢への意識が変わりました。今日は、夢のような時間をありがとうございました。

今回の講演を通して、積極性の大切さや失敗を恐れないことで成功するというのを学びました。これからの受験勉強や、高校に入ってから挑戦すべきことに積極性をもってやっていきたいと思えます。

また他にも、他人と違うことをやることで、自らの成長につながることも学んだので、これからの人生、周りを見たり、ライバルの人のまねをするのではなく、自分がやるべきだと思ったことを行っていきたいと思えます。

サッカーの授業も講演会も、どちらも楽しかったし、将来自分も澤さんのように、とりあえず挑戦していきたいと思えます。

マーカー取りゲームで、澤さんとは対戦でき、澤さんの反射能力や瞬発力に圧倒されました。全敗でしたが、「良いね！」と褒めていただき、大変嬉しかったです。今回学んだことを、高校進学後にバスケットで活かし、自分も長所を伸ばし活躍したいです。

今回の授業で、サッカーの試合を澤選手と一緒に、同じチームになった時は心強かったけど、違うチームになった時、あと少しというところで何度も止められて、澤選手の凄さを痛いほど感じました。もう一生できないような経験ができて、本当に楽しかったです。

本日はありがとうございました。あの有名なサッカー日本代表のなでしこジャパンの澤穂希さんが来てくださり、港区に生きてよかったと思えました。試合と一緒に、自分が1点入れた時に「ナイス!」と言ってくれて、とても嬉しかったです!!

## 5. 受講者アンケートの結果⑤

回答者 2組 : 30名、3組 : 26名、4組 : 29名、計85名

### Q8 澤穂希先生へメッセージ (一部抜粋)

- 今日は、お忙しい中、私たちのためにサッカーを教えていただいたり、講演会で人生において大切なことなどを知ることができてよかったです。私はサッカーの経験はないのですが、ワールドカップなどは何度か見たことがあったし、いとこ3人がサッカーをしていることもあり、少し興味がありました。そこで今回、プロサッカー選手の技を間近で見て、体験することができて嬉しかったです。これからも自分の夢を叶えるために、「主体性」を心がけていきたいです。
- 澤さんがおっしゃっていた、人と自分は比べるものではないという言葉が、とても印象に残りました。
- 風のように動く澤選手、早いボール、高いボール、まるで磁石のように人の足にフィットさせるボールを見てると、ボールそのものがまるで澤選手に完全に操られているみたいでした。サッカーがもっと好きになりました。
- 僕はスポーツだけでなく、団体で行動するのが少し苦手でしたが、チームメイトとの接し方が分かった気がします。ありがとうございました。
- 国を代表するスポーツ選手が来て、私としゃべってくれたということが嬉しかった。また、実際に凄いことを成し遂げた方の話は、私にさらにやる気を出させてくれたし、将来私も、澤さんのように国を代表する何かになりたいと思った。
- 私は今日の講義を通して、とても心にくるものがありました。それは、私は野球をやっているのですが、どうしても好きじゃない練習や、きつい練習になると、やりたくない、面倒くさいと思ってしまうからです。これからは、無駄なものは一つもなく、すべて自分の将来に必要なものだということを意識して生活していきたいです。
- 私は、澤さんの「夢はみるものではなく、叶えるもの」という言葉に深く感動しました。今までたくさんのことを成し遂げてきた澤さんには尊敬しかありません。私も努力を惜みず夢を叶えます！
- 世界で活躍してきた人の話を聞いてよかったです。常日頃から、ポジティブになることの大切さなど、色々なスポーツに触れてきたからこそ得られるものが沢山ありました。自分は大好きなスポーツを極めたいです。
- 私は父がサッカー好きで、昔よくパスをしたりしていました。でも知らないことが沢山あり、澤さんの話を聞いたり、ゲームと一緒にしてすごく楽しかったです。今日澤さんから学んだことを活かしていきたいです！
- 受験などの悩み事など全部吹き飛んでしまうくらい楽しかったし、今までやってきたバスケやこれからの勉強など全力で頑張ろうと思いました。沢山すべて本当によかったです。
- 私は試合をしているときに、澤さんに声掛けをされたり、頑張っているのを見てすごく自分もやる気がわきました。給食後の雑談や、講演を聞いて、新しく学んだことがたくさんありました。
- ぼくは6歳から11歳まで6年間サッカーをしていて、ずっと憧れていた澤さんと松原さんに会えて胸がいっぱいです。ぼくは、東京ヴェルディのユースとして、サッカーをしてきましたが、澤さんのW杯の試合はすべて見ました。それを参考にしていたこともあり、今日という日が一生忘れられない日になりました。本当にありがとうございました！
- 私はスポーツがあまり得意ではないので、今回の授業でミスすることばかりを気にしていましたが、やってみるとみんなでボールを繋ぐことが楽しいし、難しく、いつの間にか集中し、とても楽しんでいました。すごく楽しい授業と講演を本当にありがとうございました！
- 先生方に巡り会うことができ、様々な学びがありました。一番印象に残っているのは、「ポジティブであること」です。サッカーの授業のときも、明るく声出して盛り上げていて、本当にエネルギーで、励まされました!!これから今日学んだことを活かして自分の道を歩んでいきたいと思います！
- 澤さんが明るく気さくに話してくれ、親しみやすく、嬉しかったです！私も海外に住んでいたことがあり、自己主張が大切だということにとっても共感しました。印象に残った言葉は「チャンスの波にのれ」です。今後も、自分がしたいと思ったことは、どんどんやっていきたいと思いました。
- 今日の講義を受けて、改めて失敗を恐れずに挑戦することや、とにかく努力することの大切さがわかりました。今日の講義で、澤さんが言っていたことを心にとめて、何かを新しく始めるときの糧にしたいと思います。
- 「迷ったらやる」「夢はみるものではなく叶えるもの」という2つのことをしっかりやれるようにしたいです。
- 澤さんの実体験で学んだことを伝えてくださって、とても貴重な経験になりました。澤さんがおっしゃっていた、ポジティブに考えることを意識して、活用したいなと思いました。とても楽しかったです!!
- 今日は澤選手に来ていただき、間近で見た時はとても喜びがあふれました。また、緊張もしました。サッカーを小学生から6年間やってきましたが、今日のために習ってきたと言っても過言ではありません。本当にありがとうございました。

## 6. 総括・今後の課題

【良かった点】学校の担当窓口が体育教諭だったため、サッカーの授業の準備や当日の指導補助の役割も果たしてくれたのでスムーズな進行ができた。中学3年生ということもあり、生徒の取り組み姿勢も積極的に授業の趣旨を理解してもらいやすかった。

澤先生自身が日頃より子どもの教育に興味を持ち、積極的に生徒たちとコミュニケーションをとり、的確なアドバイスをしたり、気さくに対応して下さり、あすり好感触だった。

### 【課題点・検討事項】

■ 一度実施日程が決まった後に、澤先生より日程変更の依頼があったため、今後は決まった時点で契約書を交わし変更を防ぐようにする。(今回は学校の理解があり解決した)

■ 講演の授業は広い体育館で3クラス合同で実施し、講師と生徒との距離があったため、もう少し対話のできるメニュー(質疑応答の時間を増やすなど)を入れられるとより身近に感じられ、話も吸収しやすいのではないかと思います。

■ 講演でのトークテーマとして、今回は渡米しプレーした話やW杯優勝の話など多岐にわたったが、「国際社会で活躍する」「語学的重要性」を伝えるために、アメリカでプレーした際の話、海外での挑戦や苦勞を、もう少し掘り下げて話してもらってもよかった。



「夢はみるものではなく叶えるもの」